

行財政改革の取組の成果 財政効果額

R8当初予算 財政効果額 **31件 910,369 千円**

(対前年度との比較で歳出減・歳入増があるもの)

1 健全な財政運営の推進

5件

850,776 千円

主な取組(抜粋)

① 自主財源の確保

ごみ処理有料化制度導入 595,527 千円
令和8年10月より家庭系普通ごみ及び事業系普通ごみを有料指定ごみ袋方式で有料化する。

② 公営企業の経営健全化の推進

市民病院経営強化プランに基づく経営健全化 127,310 千円
個室料金の改定等による収入確保
警備業務の合理化等による経費削減 など

2 効率的・効果的な行政経営の推進

23件

42,079 千円

主な取組(抜粋)

① 民間活力の活用

柳ヶ瀬子育て支援施設・健康運動施設 指定管理に移行 25,005 千円
運営を指定管理者に移行することにより、人件費・事業費を削減。

② 費用対効果等を踏まえた事業等の見直し

薪能の観覧チケット有料化 1,000 千円
人件費や委託料の高騰による事業費増大に対応するためチケットの有料化を実施する。

③ デジタル技術の活用による事務事業の適正化・効率化

AIチャットボットの切り替え 1,793 千円
現行のAIチャットボットサービスを新サービスに切り替え、生成AIがHP情報等をもとにQA案を作成する機能を追加し、職員の業務負担軽減とともに更なる回答精度の向上を図る。加えて、運用コスト(年間)についても現行サービスに比べて約6分の1に縮減する。

④ 広域連携の推進

休日急病センターなどの圏域市町の負担金を拡大 1,565 千円
これまでは事業費赤字分のみを圏域小児一次救急・夜間帯各市町負担金の対象としていたが、事務費分も対象とした。

3 組織マネジメントの強化

3件

17,514 千円

主な取組(抜粋)

① 効率的な組織体制の確立

消防団組織体制の強化・団員確保 3,293 千円
大規模な災害等の際に基本団員の活動を支援する機能別団員として消防団OBを再任することで、現状の消防力を維持しつつ、基本団員定数の見直しを図る。

② 職員定数・給与の適正化

学校給食調理員の会計年度任用職員化 4,781 千円
正規職員(現業職)1人を会計年度任用職員パートタイムA1人に切替える。